ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/12/04 号(As of 2024/12/03)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	149.96
TKY 9:00AM	149.53	1.0501	157.20	1.2660	0.6474
SYD-NY High	150.24	1.0535	157.90	1.2699	0.6504
SYD-NY Low	148.65	1.0481	156.19	1.2638	0.6456
NY 5:00 PM	149.63	1.0509	157.23	1.2673	0.6487

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,705.53	▲ 76.47	日本2年債	0.6100%	▲0.0100%
NASDAQ	19,480.91	76.96	日本10年債	1.0700%	0.0000%
S&P	6,049.88	2.73	米国2年債	4.1805%	▲0.0042%
日経平均	39,248.86	735.84	米国5年債	4.1118%	0.0209%
TOPIX	2,753.58	38.86	米国10年債	4.2255%	0.0310%
ｼｶｺﾞ日経先物	39,260.00	630.00	独10年債	2.0550%	0.0215%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,359.41	46.52	英10年債	4.2420%	0.0325%
DAX	20,016.75	83.13	豪10年債	4.3000%	▲0.0350%
ﾊﾝｾﾝ指数	19,746.32	196.03	USDJPY 1M Vol	13.18%	0.22%
上海総合	3,378.81	14.82	USDJPY 3M Vol	11.45%	▲0.04%
NY金	2,667.90	9.40	USDJPY 6M Vol	10.81%	0.02%
WTI	69.94	1.84	USDJPY 1M 25RR	▲1.77%	Yen Call Over
CRB指数	285.98	1.43	EURJPY 3M Vol	11.61%	▲0.16%
ドルインデックス	106.37	▲ 0.08	EURJPY 6M Vol	11.07%	▲0.02%

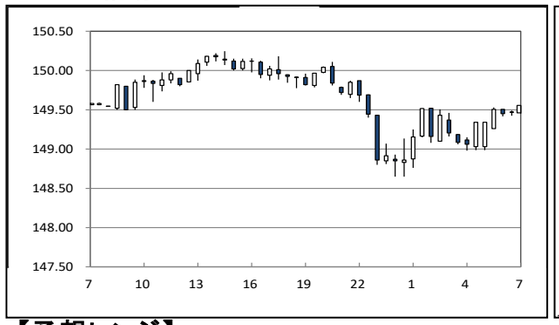
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
12月4日	00:00	米	JOLT求人	10月	7,744k	7,519k

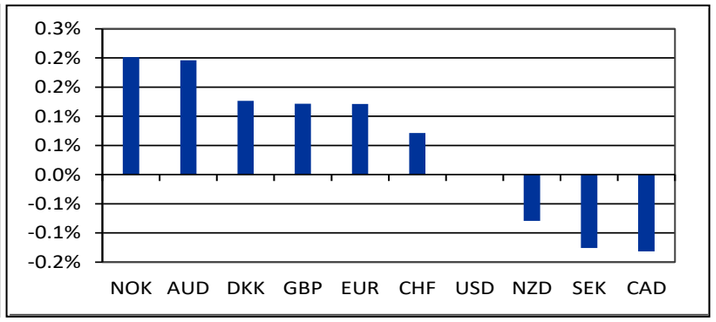
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
12月4日	09:30	豪	GDP(前年比)	3Q	1.1%	1.0%
	10:45	中	Caixin中国PMIコンポジット	11月	-	51.9
	10:45	中	Caixin中国PMIサービス業	11月	52.4	52.00
	19:00	欧	PPI(前月比/前年比)	10月	0.4%/-3.2%	-0.6%/-3.4%
	22:15	米	ADP雇用統計	11月	150k	233k
12月5日	00:00	米	ISM非製造業景況指数	11月	55.7	56.0
	03:40	米	パウエルFRB議長 発言		-	
	04:00	米	ベージュブック		-	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.50-150.50	1.0450-1.0550	154.00-158.50

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は149.53ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。月初の投資絡みのﾌﾛｰもあり、仲値にかけて150円手前まで上昇。何度か押し返されるも、日経平均株価の堅調な推移もｻﾎﾟｰﾄにじり高の展開となり、150.24まで上値を伸ばす。150円を超えた水準での上値の重さは意識されたものの、底堅さは維持し150.12で海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、150.12ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。FRBﾒﾝﾊﾞｰのﾊﾄ派発言により利下げ織り込みが進む中、徐々に上値を切り下げながら下落していき結局149.69ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は149円台半ばでｽﾀｰﾄ。日経平均株価の堅調な展開を背景とした円売りが優勢となり、150.24まで上昇する。しかし、その後は米金利がやや低下する展開を受け反落し、149.69ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。米金利の低下と韓国大統領による非常戒厳宣言のﾍｯﾄﾞﾗｲﾝもあり、148.65まで値を下げる。しかし米10月JOLT求人件数が予想を上回った事を受け、ﾄﾞﾙの買い戻し地合いとなり、149.20付近まで反発。午後もﾄﾞﾙ買いの流れが続き、終盤にかけては149.60付近まで戻し、その後149.63ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.04台後半でｽﾀｰﾄ。独金利の上昇を横目に買いが優勢となり、じり高で推移し、1.0508ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は米金利の低下を受け、1.0530付近まで上昇するも、その後は伸び悩み1.0510近辺まで反落。午後は1.0520近辺を挟んだ方向感乏しい推移が続き、1.0509ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は149円台を中心とした推移。ドル円は日経平均株価の堅調な動きをサポートにじり高に推移し、一時150円台を回復も、その後は上値重く推移。海外時間には韓国大統領より非常戒厳の宣言がなされたことによるリスク回避の円買いや、米金利低下が重石となり、ドル円は約2か月ぶりに148円台に。しかしその後発表された米10月JOLT求人件数の結果が予想を上回ったことで149円台を回復し、149.63でクローズした。
本日のドル円も上値の重い展開を予想。足許では日米金利差縮小への思惑から、ドル売り円買い地合いが継続している。金曜日に米11月雇用統計の発表を控える状況下、本日は海外時間に米11月ADP雇用統計や米11月ISM非製造業景況指数の発表を控える。また、日本時間明け方にはパウエルFRB議長による発言機会が予定されている。仮に、予想を下回る指標結果とパウエル議長のハト派発言が相まった場合には、次回FOMCでの利下げがますます織り込まれることで、日米金融政策の方向性の違いが意識され、ドル円は昨日の安値148.65を切り下げる展開も想定しておくべきものとみる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大野・鈴木